



写真提供 田村祥男

# 三味線と語りを楽しむ

にいがた文化遺産活用推進プロジェクト

江戸時代に生まれて人気を博し、現代まで伝えられてきた文弥節。本講演では、佐渡文弥節のレパートリーや節付け、上演形態などを、近世中期、近松門左衛門が活躍した頃の浄瑠璃等と、絵画資料や古典籍を用いて比較します。そして、日本演劇史上、佐渡文弥節がどのような位置を占めるのか、その特異で貴重な伝承について考えたいと思います。三味線の調べと太夫が語る文弥節、それに合わせた人形遣いの動きなど、その様子を実際に鑑賞しながら理解を深める企画です。佐渡に伝わる語り芸として「ちよぼくり」の特別上演（解説付き）も行います。

## 講演

# 日本演劇史の中の「佐渡文弥節」

## — その位置付けと役割 —

講師 田草川 みずき（千葉大学国際未来教育基幹 准教授）

〔講師略歴〕田草川 みずき（たぐさがわ みずき）一九七六年生。早稲田大学大学院博士後期課程単位取得退学。博士（文学）早稲田大学。専門は近世文学、日本古典演劇。主要著書に『浄瑠璃と謡文化―宇治加賀掾から近松・義太夫へ』早稲田大学出版部（二〇一二年）、論文に「佐渡文弥節の伝承に関する一考察」（『演劇研究センター紀要』一、二〇〇三年）、「人形浄瑠璃史研究における「絵画」の資料的可能性をめぐって」（『楽劇学』23、二〇一六年）等。第5回日本近世文学学会賞（二〇〇九年）受賞。二〇一六年より朝日新聞にて文楽劇評を担当。

文弥節実演 久保 宗香（太夫）

川野名 孝雄（人形遣い）

日時 平成30年 9月16日（日）

13時30分～15時30分（受付13時から）

場所 あいぽーと佐渡 多目的ホール  
（佐渡市両津夷384-11）

定員 150名（要申込・先着順）

## 特別出演

# ちよぼくり

本間 徹詮（地方）

広嶋 源一（踊り）

解説 池田 哲夫（新潟大学名誉教授）



聴講無料

写真提供 本間徹詮

申込先 佐渡市教育委員会 社会教育課 佐渡学センター 〒952-1311 佐渡市八幡 2041 番地 TEL・FAX 0259-52-2447  
mail sg-center@city.sado.niigata.jp  
※電話、はがき、ファクシミリ、または電子メールでお申込みください。氏名、電話番号、住所をご連絡ください。